

WFOT養成施設認可の目的と意義 (02'8.17)

【目的】

世界作業療法士連盟(World Federation of Occupational Therapists: WFOT)設立の理念の1つに、作業療法士のクオリティの維持と向上がある。そのため、WFOT は当初から作業療法士養成カリキュラムの最低基準を設定し、その基準を守ることをWFOT 加入条件の1つとした。

【WFOT正会員国加盟の条件】

各国の作業療法士協会がWFOT の会員国に加盟する条件は以下の通りである。

- 1)12名以上の有資格作業療法士(WFOT 基準を満たした養成校の卒業生)がいること。
- 2)WFOT の認可を受けた作業療法士協会の定款を有すること。
- 3)WFOT 最低教育基準を満たした養成校が1校あること。

【養成校の認可手続き】

- 1)正会員加盟時点でWFOT 教育委員会が1校の審査を行い、認可されること。

日本の場合は、1972年に九州リハビリテーション大学校が審査を受け認可されている。

- 2)加盟後は、各国のOT協会にWFOT 養成校認可委員会の設置を要請し、審査を委託する。
- 3)その委員会の審査はWFOT 最低教育基準に照らして実施される。
- 4)審査結果は、各国WFOT 代表を通して、WFOT 事務局に報告される。
- 5)OT協会は必要に応じてWFOT の指導を仰ぐことができる。

【WFOT認可校の公表】

毎年、WFOT 認可校のリストが作成され、各国協会に送付されている。<http://www.wfot.org.au/>

【WFOT認可校の卒業生であることのメリット】

- 1)有資格作業療法士であることの国際的認知にかかわる唯一の方法である。
- 2)諸外国でOTとしての雇用、大学院教育、研修等の際にチェックされることが多い。
 - * 近年諸外国で仕事を求めたり、大学院教育を目指す人が増えているが、WFOT 認可校リストに学校名が掲載されているだけでなく、各国協会(一般にはWFOT 代表)からの確認と推薦状を取ることが多い。
 - * 外国のOT 資格者がわが国においてOTとして働く場合、厚生労働省はWFOT 認可校の卒業生であるかどうかをチェックしている。